

復興大臣田中和徳 国政報告書第304号

衆議院議員田中和徳事務所
TEL: 03-3508-7294
FAX: 03-3508-3504
<http://www.tanaka-kazunori.com>
E-mail: k-tanaka@kamome.or.jp



我が国も本年春、5Gを本格導入！

1. 5th Generation（第5世代移動通信システム）の概要

- スマホなどに使われる電波無線通信システムは、世界中で急速に進化している。
本年春より、第5世代の通信システム『5G』を、日本でも本格的に導入される。
- ただ、我が国は5G関連技術で大きく後れを取っており、巻き返しを図る必要がある。

《 5Gの主要な性能と、産業構造に与える影響 》

5G：膨大なデータを、リアルタイムで、多くの端末に送信可能

- ①超高速：同じ時間で現行世代の数十倍のデータを送信可能
- ②低遅延：データ通信に伴うタイムラグが、ほぼ存在しなくなる
- ③多接続：現行世代の30～40倍の端末にアクセスが可能

自動・遠隔技術が飛躍的に発展し、本格的な全自動社会が到来

- ①自動化：車両や建設重機などの自動運転・操縦技術が発達
人工知能と大量のセンサーやドローンなどを併用し、
農業や建築業など、様々な産業の自動化が進む
- ②遠隔化：遠隔医療や、出勤せずに自宅で働ける環境が整う

2. ITと5G関連の政府の施策

- 政府は、次世代のITインフラの整備と新産業開拓のため、様々な施策を進める
これらの取組みは、日本の立ち遅れた競争力を向上させるために大変重要。

《 ITと5G関連の主な取組み：2019年度政府補正予算 》

中小企業のIT化促進	3600億円	中小企業のIT化と設備投資を強力に支援し、新しい商品やサービスの開発、生産性の向上を促す。
学校教育のIT化の推進	2318億円	児童への学習用PCの配布、学校内の無線LAN敷設、児童に対するIT教育の充実などを推進する。
ポスト5Gの情報通信基盤強化	1100億円	5G以降の無線通信システムの構築において、日本が世界をリードできるよう、関連産業を支援する。
科学研究に対する助成金の拡充	550億円	若手の研究者を重点的に支援し、待遇改善を図る。新興分野の研究を後押しし、新産業の開拓を進める。

《 ITと5G関連の主な取組み：2020年度政府予算案 》

科学研究への支援	4562億円	若手研究者を重点的に支援し、待遇改善を図る。新興分野の研究を後押しし、新産業の開拓を進める。大型・最先端の研究施設の整備を進める。
マイナンバー普及と無線通信環境の整備	4219億円	マイナンバーカードの普及と行政のデジタル化を進める。光ファイバー網や携帯電話基地局の整備を支援し、5Gの導入に向けた無線通信環境を充実させる。
工場のワイヤレス化 ローカル5G関連など	460億円	工場内部の無線システムなどの技術開発を支援する。企業や自治体などが独自に5Gシステムを構築できるよう『ローカル5G』の開発実証を支援する。

- 現在、5Gの基地局シェアは中国や欧米の通信機器メーカーが支配的である。
日本のメーカーは、通信用半導体の分野でも大きく後れを取っている。
- 5Gは、国民生活をより便利で快適にするための重要な社会インフラである。
そして、様々な革新的技術や新サービスを生み出す産業基盤でもある。
- 5Gの分野で世界をリードすることは、社会的にも経済的にも極めて重要である。
我が国も遅れを取り戻すため、政府を挙げて強力に支援体制を構築していく。